

印刷物積算書（出版印刷物用）

日付： X年 X月 X日（○）

担当部署	〇〇社 〇〇部	担当者	〇〇 〇〇	TEL	XX-XXXX-XXXX
件名	雑誌「〇〇〇〇」	規格・頁数	A4判 168ページ(表紙別)	数量	3,000部

項目	構成	種類	規格等	単価	数量	数量	数量	金額	参照頁	
A.編集デザイン										
1	デザイン	表紙1・4	雑誌		40,000 円 ×	1 面 ×	=	40,000 円	P104	
		本文	雑誌	文字組	2,500 円 ×	166 頁 ×	=	415,000 円	P104	
編集デザイン 計								455,000 円		
B.DTPパーツ作成										
1	文字	奥付	入力		0.8 円 ×	1,050 字 ×	1 部	=	840 円	P108
		本文	データ処理	ページ物	20 円 ×	167 頁	=	3,340 円	P108	
2	罫表		データ処理		350 円 ×	30 点	=	10,500 円	P109	
3	図版		データ処理	イラスト、ロゴ	200 円 ×	82 点	=	16,400 円	P110	
			作図	手書き B6 難易度B	2,550 円 ×	19 点	=	48,450 円	P110	
4	写真		データ処理	モノクロ	250 円 ×	30 点	=	7,500 円	P111	
			データ処理	カラー	350 円 ×	4 点	=	1,400 円	P111	
			スキャニング	モノクロ B6	350 円 ×	1 点	=	350 円	P112	
			スキャニング	カラー B6	550 円 ×	2 点	=	1,100 円	P112	
DTPパーツ作成 計								89,880 円		
C.DTPメイクアップ										
1	メイクアップ	表紙1・4	画像主体	見開きA3 難易度C カラー	3,250 円 ×	2 版	=	6,500 円	P116	
		巻頭文	文字主体	A4 難易度A カラー	950 円 ×	1 頁	=	950 円	P116	
		目次	文字主体	A4 難易度C カラー	2,050 円 ×	2 頁	=	4,100 円	P116	
		前付	文字主体	A4 難易度D カラー	3,250 円 ×	3 頁	=	9,750 円	P116	
		本文1	文字主体	A4 難易度C カラー	2,050 円 ×	32 頁	=	65,600 円	P116	
		本文2	文字主体	A4 難易度B モノクロ	1,150 円 ×	127 頁	=	146,050 円	P116	
		奥付	文字主体	A4 難易度C モノクロ	1,650 円 ×	1 頁	=	1,650 円	P116	
2	データチェック	表紙2・3	画像主体		400 円 ×	1 面	=	400 円	P118	
		前付	文字主体		200 円 ×	2 頁	=	400 円	P118	
DTPメイクアップ 計								235,400 円		
D.文字デザイン校正紙										
1	校正紙	表紙	カラー	見開きA3	150 円 ×	2 枚 ×	1 部 ×	2 回 =	600 円	P139
		巻頭文～本文1	カラー	A4	75 円 ×	40 頁 ×	1 部 ×	3 回 =	9,000 円	P139
		本文2・奥付	モノクロ	A4	20 円 ×	128 頁 ×	1 部 ×	3 回 =	7,680 円	P139
文字デザイン校正紙 計								17,280 円		
op2.色校正										
1	DDCP	表紙		見開きA3	2,450 円 ×	1 枚 ×	1 部 ×	2 回 =	4,900 円	P142
色校正 計								4,900 円		
E.刷版										
1	CTP版 アルミ版	表紙	面付	見開きA3×2面付	50 円 ×	2 面 ×	2 版	=	200 円	P151
			出力	A2	2,600 円 ×	2 版 ×	4 色	=	20,800 円	P151
		巻頭文～前付	面付	A4×4頁面付	50 円 ×	4 頁 ×		2 版 =	400 円	P151
			出力	A2	2,600 円 ×	2 版 ×	2 色	=	10,400 円	P151
		本文1	面付	A4×8頁面付	50 円 ×	8 頁 ×		4 版 =	1,600 円	P151
			出力	A1	3,000 円 ×	4 版 ×	2 色	=	24,000 円	P151
		本文2・奥付	面付	A4×8頁面付	50 円 ×	8 部 ×		16 版 =	6,400 円	P151
			出力	A1	3,000 円 ×	16 版 ×	1 色	=	48,000 円	P151
刷版 計								111,800 円		
F.印刷										
1	枚葉	表紙	(最低基準の場合)	A2 1,500 通し	3,550 円 ×	2 版 ×	4 色	=	28,400 円	P158
		巻頭文～前付	(最低基準の場合)	A2 2,000 通し	1.97 円 ×	2 版 ×	2 色 ×	2,000 通 =	15,760 円	P158
		本文1	(通し単価の場合)	A1 3,000 通し	1.78 円 ×	4 版 ×	2 色 ×	3,000 通 =	42,720 円	P158
		本文2・奥付	(通し単価の場合)	A1 3,000 通し	1.78 円 ×	16 版 ×	1 色 ×	3,000 通 =	85,440 円	P158
印刷 計								172,320 円		

項目	構成	種類	規格等	単価	数量	数量	数量	金額	参照頁
G.製本加工									
1	並製本 無縁綴じ	本文基本	10台まで A4	21.66 円	=	21.66 円			P176
		本文加算	16頁折り A4	1.97 円 ×	1 台 =	1.97 円			P176
		表紙加工	表紙くるみ A4	8.01 円	=	8.01 円			P176
		1部当たり小計				31.64 円 ×		3,000 部 =	94,920 円
								製本・加工 計	94,920 円
H.用紙									
1	表紙 アート紙	(数量)	正味数量	見開きA3	1部あたりの枚数	製作数量	全判から取れる枚数	正味数量	
			印刷予備紙	枚葉 1,500 通し (予備紙率の場合) 計 8 色 (4/4)	印刷予備紙率		正味数量	印刷予備紙	
			製本予備紙	並製本	製本予備紙率		正味数量	製本予備紙	
		表紙用紙数量 計					1,010 枚		
	(金額)	kg単価	菊判 76.5 kg	224 円 ×	76.5 kg ÷	1,000 枚 ×	1,010 枚 =	17,307 円	P203
		白紙裁ち	2 切 250 枚/包	350 円 ×	5 包		=	1,750 円	P197
									表紙用紙金額 計
2	巻頭文 ～ 本文1 上質 コート紙	(数量)	正味数量	A4	1部あたりの頁数	製作数量	全判から取れる頁数	正味数量	
			印刷予備紙	枚葉 1,500 通し (予備紙率の場合) 計 4 色 (2/2)	印刷予備紙率		正味数量	印刷予備紙	
			製本予備紙	並製本	製本予備紙率		正味数量	製本予備紙	
		巻頭文～本文1用紙数量 計					8,486 枚		
	(金額)	kg単価	菊判 43.5 kg ※1	216 円 ×	43.5 kg ÷	1,000 枚 ×	8,486 枚 =	79,734 円	P203
		白紙裁ち	2 切 500 枚/包	350 円 ×	4 包		=	1,400 円	P197
									巻頭文～本文1用紙金額 計
3	本文2 ・奥付 上質紙	(数量)	正味数量	A4	1部あたりの頁数	製作数量	全判から取れる頁数	正味数量	
			印刷予備紙	枚葉 3,000 通し (予備紙率の場合) 計 2 色 (1/1)	印刷予備紙率		正味数量	印刷予備紙	
			製本予備紙	並製本	製本予備紙率		正味数量	製本予備紙	
		本文2、奥付用紙数量 計					25,779 枚		
(金額)	kg単価	菊判 38.0 kg ※2	198 円 ×	38.0 kg ÷	1,000 枚 ×	25,779 枚 =	193,961 円	P202	
								本文2、奥付用紙金額 計	193,961 円
								用紙 計	292,752 円
<合計金額>									
1	加工高(各工程の合計)							1,474,252 円	P208
2	I.諸経費 (諸経費率×加工高) 加工高 300万円まで			諸経費率	加工高			117,940 円	P206
				8 % ×	1,474,252 円	=			
								合計(加工高+諸経費 ※消費税別)	1,592,192 円

・参照頁は「積算資料 印刷料金 2026年版」の掲載ページ。単価は東京を採用。

・※は割増等、「積算資料 印刷料金 2026年版」の掲載値に何らかの処理をしたことを示す。処理内容は「解説」を参照。

解 説

【面付と印刷規格(刷版規格)の選択手順の目安】

- ・ 本事例について、面付と印刷規格(刷版規格)の選択手順の目安は以下のとおり。

《表紙》

- ・ 表紙の印刷規格は、基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの印刷通し数と最低基準通し数を比較して選択する。
 なお、ページ物・表紙は、基本的に多面付を行い、印刷通し数を減らすことで効率を得る(ペラ物と同じ考え方)。

表紙 見開き規格	印刷規格の選択肢	多面付数	印刷通し数 (製作数量÷多面付数)	最低基準通し数
A3	A1(菊・A全判)	A3×4面付	3,000部÷4面付=750通し	A1 2,000通し
	A2(菊・A半裁)	A3×2面付	3,000部÷2面付=1,500通し	A2 1,500通し
	A3(菊・A四裁)	多面付なし	製作数量と同じ3,000通し	A3 500通し

上記より、本事例の表紙では、印刷通し数が最低基準通し数と同じA2を選択している。

《巻頭言～前付》8頁

- ・ 巻頭言～前付の8頁の印刷規格は、基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの版数を比較して選択する。
 なお、ページ物・本文は、基本的にページ面付を行い、版数を減らすことで効率を得る。
 ただし、ページ物は1枚の紙に両面印刷を行うため、基本的に版数が偶数になることに注意。
 また、ページ面付後、必要に応じて、多面付を行い、印刷通し数を減らすことで効率を得ることもある。

巻頭言～前付 仕上り規格	ページ面付後の 刷版規格の選択肢	ページ面付数	版数 (ページ数÷ページ面付数)
A4	A1(菊・A全判)	A4×8ページ面付	8頁のため選択不可
	A2(菊・A半裁)	A4×4ページ面付	8ページ÷4ページ面付=2版
	A3(菊・A四裁)	A4×2ページ面付	8ページ÷2ページ面付=4版

上記より、本事例の巻頭言～前付の8頁では、ページ面付については、最も版数が少ないA2を選択する。

- ・ ページ面付後の刷版規格がA2のため、多面付を考える。

基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの印刷通し数と最低基準通し数を比較して選択する。

ページ面付後 の刷版規格	多面付後の 刷版規格の選択肢	多面付数	印刷通し数 (製作数量÷多面付数)	最低基準通し数
A2	A1(菊・A全判)	A2×2面付	3,000部÷2面付=1,500通し	A1 2,000通し
	A2(菊・A半裁)	多面付なし	製作数量と同じ3,000通し	A2 1,500通し

上記より、本事例の巻頭言～前付の8頁では、多面付は行わず、ページ面付のみのA2を選択している。

《本文1》32頁

- ・ 本文1の32頁の印刷規格は、基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの版数を比較して選択する。

本文1 仕上り規格	ページ面付後の 刷版規格の選択肢	ページ面付数	版数 (ページ数÷ページ面付数)
A4	A1(菊・A全判)	A4×8ページ面付	32ページ÷8ページ面付=4版
	A2(菊・A半裁)	A4×4ページ面付	32ページ÷4ページ面付=8版
	A3(菊・A四裁)	A4×2ページ面付	32ページ÷2ページ面付=16版

上記より、本事例の本文1の32頁では、ページ面付については、最も版数が少ないA1を選択する。

- ・ なお、ページ面付によりA1を選択したため、多面付は行わない。

《本文2・奥付》128頁

- ・ 本文2・奥付の128頁の印刷規格は、基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの版数を比較して選択する。

本文2・奥付 仕上り規格	ページ面付後の 刷版規格の選択肢	ページ面付数	版数 (ページ数÷ページ面付数)
A4	A1(菊・A全判)	A4×8ページ面付	128ページ÷8ページ面付=16版
	A2(菊・A半裁)	A4×4ページ面付	128ページ÷4ページ面付=32版
	A3(菊・A四裁)	A4×2ページ面付	128ページ÷2ページ面付=64版

上記より、本事例の本文2・奥付の128頁では、ページ面付については、最も版数が少ないA1を選択する。

- ・ なお、ページ面付によりA1を選択したため、多面付は行わない。

【A.編集デザイン】

- ・表紙デザインについて、表紙1・4の1面が対象。表紙2・3は広告DTP原稿支給のため不要。
- ・本文デザインについて、文字組を適用。166ページが対象。前付の2ページは広告DTP原稿支給のため不要。

【B.DTPパーツ作成】

- ・文字、罫表、図版、写真について、デジタル入稿分はデータ処理を適用。
罫表の文字は一般的にデータより流し込みを行うため、入力は不要。
- ・図版について、手書き原稿は作成を適用。
- ・写真について、アナログ入稿はスキャニングを適用。
モノクロ写真は、合計点数が1点のため「1～10点」の単価を適用。
カラー写真は、合計点数が2点のため「1～10点」の単価を適用。

【C.DTPメイクアップ】

- ・メイクアップの対象は以下の通り。
表紙1・4について、種類は画像主体、規格は見開きA3を適用。
巻頭文～本文1について、種類は文字主体・カラー、規格はA4を適用。
本文2・奥付について、種類は文字主体・モノクロ、規格はA4を適用。
- ・メイクアップデータチェックの対象は以下の通り。
表紙2・3について、種類は画像主体。前付の2ページについて、種類は文字主体。

【D.文字デザイン校正紙】

- ・表紙について、種類はカラー、1回の出力枚数は2枚のため「1～10枚」の単価を適用。
- ・巻頭文～本文1について、種類はカラー、1回の出力枚数は40ページのため「11～50枚」の単価を適用。
- ・本文2・奥付について、種類はモノクロ、1回の出力枚数は128ページのため「51枚～」の単価を適用。

【op2.色校正】

- ・表紙について、DDCPを適用。規格は見開きA3。

【E.刷版】

- ・ページ物印刷物は1枚の紙に両面印刷を行うため、版数が偶数になることに注意する。
ページ物印刷物の版数の算出は、「ページ数÷ページ面付数」。

《表紙》

- ・面付:前述のとおり、表紙1・4、表紙2・3それぞれ見開きA4×2面付。
- ・出力:規格は面付後規格A2(半裁)。版数は表紙1・4で1版・表紙2・3で1版の計2版。色数は4色。

《巻頭言～前付の8頁》

- ・面付:前述のとおり、A4×4ページ面付×2面付。版数は8ページ÷4ページ面付=2版。
- ・出力:規格は面付後規格A1(全判)。版数は2版。色数は2色。

《本文1の32頁》

- ・面付:前述のとおり、A4×8ページ面付。版数は32ページ÷8ページ面付=4版。
- ・出力:規格は面付後規格A1(全判)。版数は4版。色数は2色。

《本文2・奥付の128頁》

- ・面付:前述のとおり、A4×8ページ面付。版数は128ページ÷8ページ面付=16版。
- ・出力:規格は面付後規格A1(全判)。版数は16版。色数は1色。

【F.印刷】

- ・印刷通し数の算出は、「製作数量÷刷版での多面付数」。

《表紙》印刷通し数について、3,000部÷2面付=1,500通し。規格、版数、色数は刷版と同じ。

《巻頭言～前付》印刷通し数について、3,000部÷2面付=1,500通し。規格、版数、色数は刷版と同じ。

《本文1》印刷通し数について、多面付を行っていないため製作数量と同じ3,000通し。規格、版数、色数は刷版と同じ。

《本文2・奥付》印刷通し数について、多面付を行っていないため製作数量と同じ3,000通し。規格、版数、色数は刷版と同じ。

【G.製本加工】

- ・台数の算出は、「版数÷2(両面印刷)」。

《巻頭言～前付》台数について、2版÷2=1台。台の種類は8ページ折り。

《本文1》台数について、4版÷2=2台。台の種類は16ページ折り。

《本文2・奥付》台数について、16版÷2=8台。台の種類は16ページ折り。

- ・台数が計11台のため、本文加工基本料(10台まで)に本文加工加算料を16ページ折り1台分(本文2・奥付分)加算。

【H.用紙】

《表紙》アート紙

- ・用紙総量が1連(1,000枚)以上10連(10,000枚)未満のため、掲載価格イを適用。
- ・菊判76.5kg=四六判110kgのため、規格連量外加算は不要。
- ・白紙裁ちは、印刷規格A2(半裁)のため2切を適用。包み数の算出は、「用紙数量÷1包の入数」。

《巻頭言～本文1》上質コート紙

- ・巻頭文・目次・前付、本文1で印刷の通し数が異なることで、適用する予備紙率が異なるため、それぞれ算出する。
- ・用紙総量が1連(1,000枚)以上10連(10,000枚)未満のため、掲載価格イを適用。
- ・菊判43.5kg=四六判63kgのため、規格連量外として10円加算(※1)。
- ・白紙裁ちは、印刷規格A1(全判)のため不要。

《本文2・奥付》上質紙

- ・用紙総量が20連(20,000枚)以上のため、掲載価格アを適用(取引数量条件を超えるが便宜上アで算出した)。
菊判38kg=四六判55kgのため、規格連量外として5円加算(※2)。
白紙裁ちは、印刷規格A1(全判)のため不要。